



農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

■園児と田植えを行う（システム園芸科）

5月28日（木）、2年システム園芸科「生物活用」で近隣の玉川保育園と交流活動を行いました。玉川保育園の年長さん10名が本校の学校水田で生徒とともに田植えを行いました。玉川保育園との交流は毎年行っていますが、去年は雨天で中止となった為、園児と一緒に田植えは2年ぶりになります。

生徒たちは水田の楽しさや田植えの方法、注意事項などをイラストや文字で丁寧に説明していました。その後、手をつないでみんなで水田に入り、楽しく田植えをすることができました。9月に園児とともに稲刈りを行う予定です。



■マイタケの定植（森林科学科）

森林科学科では林産物利用という授業の一部で、シイタケやアワビタケといったキノコを栽培しています。昨年度からは、“原木マイタケ”の栽培にも挑戦しています。マイタケに限らず、市場に出回っているキノコのほとんどは菌床で栽培されています。原木から収穫したマイタケは菌床マイタケに比べて食感が良く、香りも豊かです。

夏の暑さが厳しくなる前に植え付けをすると、その年の秋ごろに発生します。写真は植え付けの時の様子です。ナメクジやキノコバエなどにやられないように管理方法を模索しながら今年度も栽培しています。



■各班が課題研究に取り組む（環境土木科）

令和8年度3年生課題研究・総合実習では、3つの班に分かれプロジェクト学習を行っています。1班は、本校の広大な敷地図をCAD作成し、測定の学習をするグループです。2班は、圃場を活動の中心とした作物の育成・販売を行うグループ。3班は、校内の整備を行うグループです。

写真は、作物を育成する2班の「ジャガイモ（キタアカリ）」の初収穫の様子です。収穫物は、袋詰めして本校の正面玄関で販売しました。環境土木科圃場では、ジャンボピーマン・ナス・サトイモなど様々な作物の栽培に挑戦して、校内で販売し喜ばれています。他の班も頑張っていますので、次回、活動状況をお伝えします。



■造園技能検定に挑戦（造園緑地科）

国家資格「3級造園技能検定」を取得するために、知識・技術の習得に向けて学習や実技練習に取り組んでいます。この資格検定は2m×1.5mの区画に図面通りの庭を作るとともに80種類の樹木の中から10種類選ばれた樹木名を答える要素試験があります。さらに学科試験へも合格しなければなりません。この資格は造園の基礎を身に付けることができ、造園業で2級検定を受験する際に2年以上必要な実務経験が免除になる資格です。

受験票が交付され、試験日程も発表され、生徒たちは一層気を引き締めて、練習に励んでいます。練習回数を重ねるたびに施工課題を仕上げるスピードも速く、仕上がり様子も丁寧になってきました。全員合格を目指して頑張っています。



■1年生、初めての田植え体験（食品科学科）

台風が過ぎ去った6月4日（金）1校時、1年食品科学科28名は「農業と環境」の授業で、田植え体験を行いました。担当教諭のレクチャーを受けたのち、初めて田植えを体験する生徒も多く、泥の感触を裸足で感じながら、苗を約6mの範囲に手で一つ一つ丁寧に植えることができました。「楽しい」という生徒の声も聞こえました。収穫後のお米の出来が楽しみです。

実習の最後には、食品科学科特製の桃のネクターを飲みました。作業の後の一杯はおいしく、何杯もおかわりしていました。



■やまなし探究シンポジウムに県内公立高校が集まる

7月20日（月）、「やまなし探究シンポジウム」が、今年度、初めて開催されました。山梨県内すべての公立高校の生徒が一堂に会し、探究的な学びの成果やプロセスを発表・交流するイベントです。高校生の学びの姿を広く発信するとともに、中学生や多くの方々が県内公立高校の学びの魅力を知る機会となりました。

本校からは5学科のプロジェクト学習の代表者と農業クラブ活動のPRを行う農業クラブ役員が参加しました。対話エリアでは森林科学科が「山梨夏っこきのか栽培」を発表しました。その他の学科は、ポスターセッション形式でプロジェクト学習を発表しました。本校の学科の特色を生かした研究成果を発信することができました。



生徒の活動の様子はこちらからご覧下さい。
学校ホームページ



（会場 アイメッセ山梨）